



東京2020大会警備JVとの個別契約締結について

警備局

9月20日（金）共同実施事業管理委員会東京都作業部会

1. 審議事項

2018年11月に締結した警備JVとの基本契約に基づき、警備JVへの委託範囲における全ての対象について個別契約を締結する。

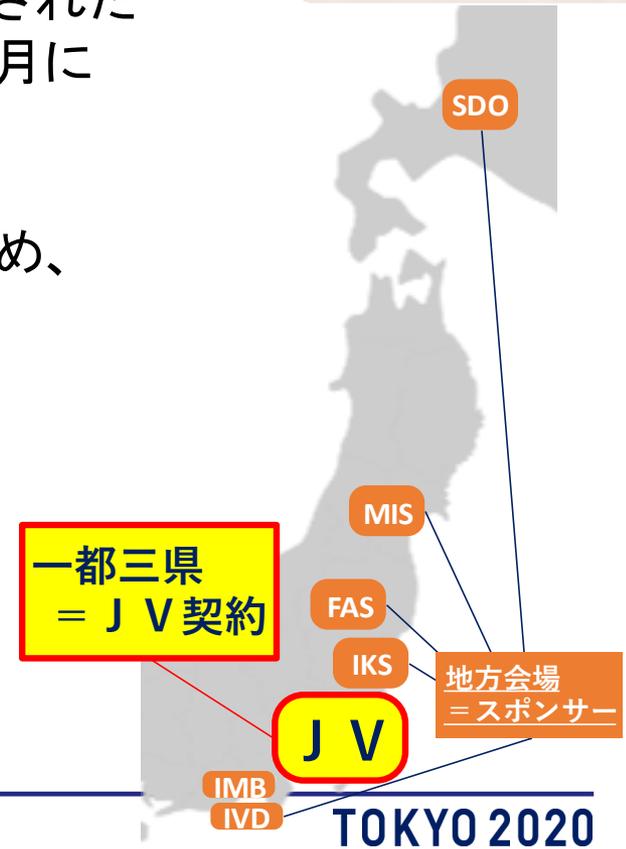
2. 背景と目的

(1) 背景

- ・ 2020年に向けた警備需要の高まりによって、競技会場が集中する東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県の一都三県地域及び 短期集中的に要員が必要となる路上競技では警備員確保が困難となることが想定されたため、2018年4月に東京2020警備JVが発足、同年11月に基本契約を締結した。
- ・ 基本契約以降、各会場毎の基本的な警備要件を定め、今後、詳細な調整フェーズに移行していく。

(2) 目的

警備JVへ委託する全ての対象について警備業務委託契約を締結することで、大会に向けた要員の確保を確実なものとする。



3. J V 基本契約と個別契約との関係

2018年11月に締結した基本契約では、対象となる地域や契約単価等を定めた。

2019年11月の個別契約では、基本契約の締結内容を補完するとともに、対象地域の全警備対象において、J V 加入警備会社を個々に割当てた内容に基づき締結する。

	基本契約（2018.11.26）	個別契約
業務対象の範囲	東京都、埼玉県、千葉県及び神奈川県並びにその周辺の特定地域における競技会場、非競技会場等	
契約金額	<ul style="list-style-type: none">・警備員単価<ul style="list-style-type: none">S：警備隊責任者等A：エリア責任者等B：警備小隊責任者・X線検査装置操作者等C：一般警備隊員・その他手当 警備員が大会警備に従事するにあたり必要となる経費又は現物で支給	基本契約に基づく警備員単価での警備対象ごとの総額を締結（その他手当含む） <ul style="list-style-type: none">・契約金額・契約期間・履行場所・警備実施会社・配置時間・配置ポスト・配置人員

4. 委託概要

(1) 委託対象

東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県、静岡県※（自転車ロード関連のみ）に所在する
競技会場、ラストマイル、公式練習会場、ファシリティ、東京2020ライブサイト

委託地域	パートナー	北海道、宮城県、福島県、茨城県、静岡県（FSWを除く）
	警備JV	東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県、静岡県（FSW）、路上競技

(2) 委託期間

バンピンからバンプアウトまで



4. 委託概要

(3) 各期間中の警備業務

①大会期間

警備計画（基本）に基づく各種業務

- ・ 関係者/関係車両の入退場管理
- ・ 関係者/観客/関係車両/物品のスクリーニング検査
- ・ 重要箇所における警戒
- ・ 各種システムのモニタリング監視
- ・ 有事発生時の突発対応
- ・ 巡回 他

②大会期間外

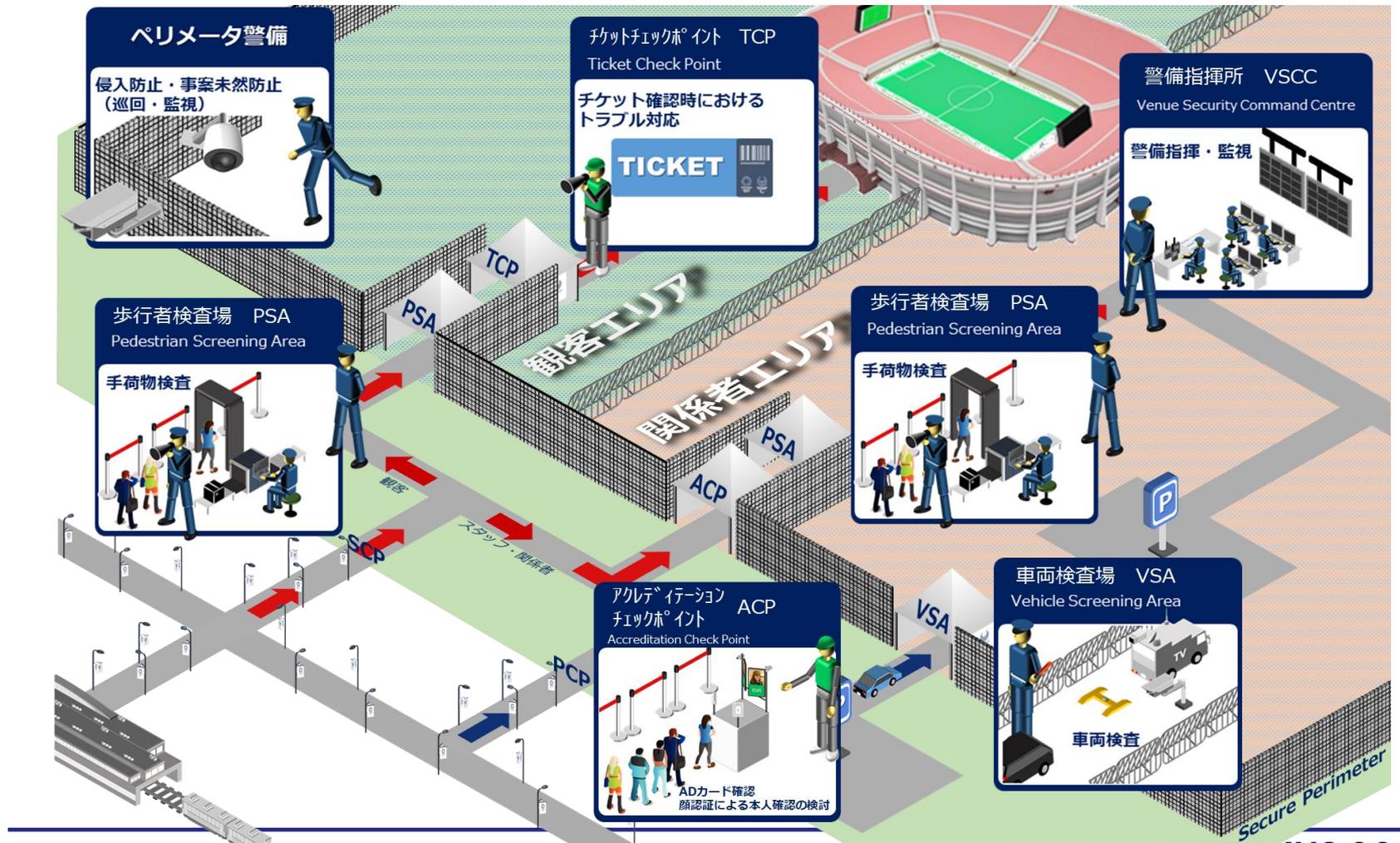
(バンプイン、ムーブイン/バンプアウト、ムーブアウト期間)

- ・ 関係者/関係車両の入退場管理
- ・ 巡回
- ・ 有事発生時の突発対応 他

5. 基本的な配置の考え方 (警備ガイドライン抜粋)

(1) 競技会場の主なセキュリティ対策

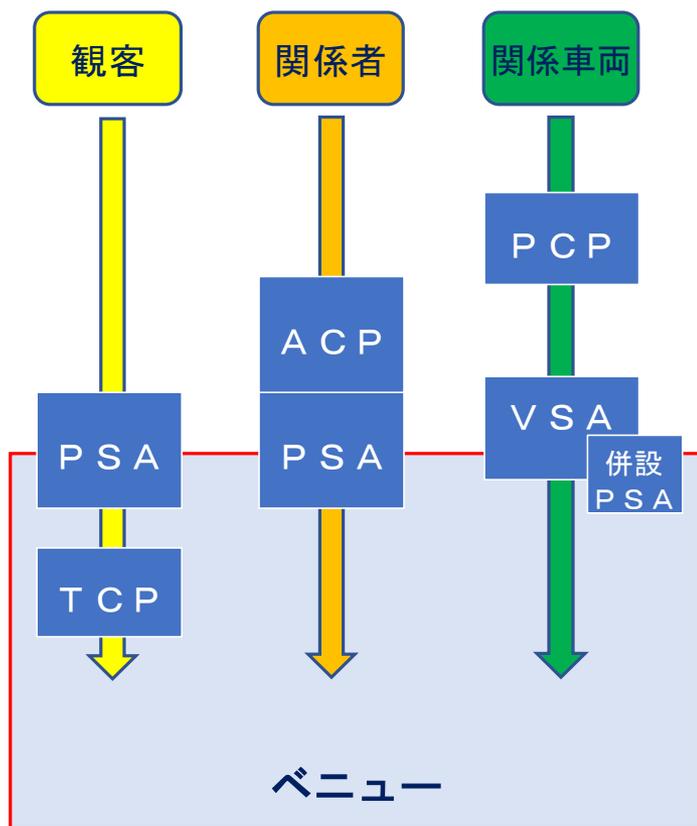
2018年11月、東京2020大会の自主警備に関する方針及び具体的な要領や基準を規定することを目的とした「警備ガイドライン」を策定した。



5. 基本的な配置の考え方（警備ガイドライン抜粋）

（2）競技会場へのアクセスコントロール

観客、関係者、関係車両がベニューに入る際、スクリーニング等の検査を受けてから入場が許可される。2017年、2018年に実施したスクリーニング実証実験によって、検査方法や待ち行列、設置スペースなどの様々な課題をクリアするための最適なレーン構成を決定した。



実証実験 (2017, 2018) に基づく
各種レーン構成の決定

6. 競技会場における各期間の警備仕様

競技会場等において、組織委員会が使用するバンプインからバンプアウトまでの期間、各フェーズにおける最低限の基本プランを定めた。今後、ベニュー毎に警備計画の詳細を詰めていき、必要に応じて修正を加えていく。



期間毎に基本的な警備仕様を確定